



電話のリセット/リスタート

この章では、属性を更新せずにデバイスをリセットまたはリスタートする方法について説明します。以下の手順は、問題が発生して、一括トランザクションによって電話機をリセットまたはリスタートする必要がある場合に使用します。クエリまたはカスタムファイルのいずれかを使用して、リセットする電話機を検索できます。

- [クエリを使用した電話機のリセットまたは再起動](#) (1 ページ)
- [カスタム ファイルを使用した電話機のリセットまたは再起動](#) (3 ページ)
- [クエリを使用した電話のワイプまたはロック](#) (4 ページ)
- [カスタム ファイルを使用した電話のワイプまたはロック](#) (6 ページ)

クエリを使用した電話機のリセットまたは再起動

リセットまたは再起動（リスタート）する電話機を特定するためのクエリを作成できます。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話のリセット/リスタート (Reset/Restart Phones)] > [クエリ (Query)] の順に選択します。
[電話のリセット/リスタート (Reset/Restart Phones Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 最初の [電話の検索 (Find Phone where)] ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のいずれかを選択します。
- [デバイス名 (Device Name)]
 - 説明
 - 電話番号 (Directory Number)
 - [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]
 - [デバイスプール (Device Pool)]
 - [デバイスタイプ (Device Type)]
 - [コール ピックアップ グループ (Call Pickup Group)]
 - [LSC ステータス (LSC Status)]
 - 認証文字列

- [デバイス プロトコル (Device Protocol)]
- [セキュリティ プロファイル (Security Profile)]
- 一般デバイス設定

2 番目の [電話の検索 (Find Phone where)] ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- ~で始まる
- ~を含む
- 次の文字列と完全に一致する
- 次の文字列で終わる
- 空である
- ~が空ではない

ステップ 3 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。

ヒント データベースに登録されているすべての電話機を検索するには、検索テキストを何も入力せずに [検索 (Find)] をクリックします。

ステップ 4 さらにクエリを定義するには、[AND] または [OR] を選択して複数のフィルタを追加し、[ステップ 2 \(1 ページ\)](#) と [ステップ 3 \(2 ページ\)](#) を繰り返します。

ステップ 5 [検索 (Find)] をクリックします。

検出されたテンプレートのリストが次の分類で表示されます。

- [デバイス名 (Device Name)]
- 説明
- [デバイス プール (Device Pool)]
- [デバイス プロトコル (Device Protocol)]
- ステータス (Status)
- IP アドレス

ステップ 6 レコードのリストから、検索条件と一致するデバイス名をクリックします。

ステップ 7 次のオプションのいずれかをクリックします。

- [リセット (Reset)] : 電話機をリセットします (電源の入れ直し)。
- [リスタート (Restart)] : 電源を入れ直さずに電話機をリセット (再起動) します。
- [設定の適用 (Apply Config)] : 最後のリセット以降に変更された設定のみをリセットします。

ステップ 8 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 9 挿入方法を選択します。次のいずれかを実行します。

- すぐに電話機レコードを挿入する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)] をクリックします。
- 後で電話機レコードを挿入する場合は、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。

- ステップ 10** 電話機レコードを挿入するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。
- このジョブをスケジュールするか、アクティブにするか、またはその両方を行うには、[ジョブの設定 (Job Configuration)] ウィンドウを使用します。

関連トピック

- [BAT ログ ファイル](#)
- [スケジュールしたジョブの管理](#)

カスタム ファイルを使用した電話機のリセットまたは再起動

テキスト エディタを使用して、リセットまたは再起動する電話機のカスタム ファイルを作成できます。カスタム ファイルでは、デバイス名または電話番号を使用できます。

始める前に

- リセットまたは再起動（リスタート）する電話機に関する以下のいずれかの詳細情報を列挙したテキスト ファイルを作成します。
 - [デバイス名 (Device Name)]
 - 説明
 - 電話番号



(注) 各アイテムをテキスト ファイル内の別々の行に配置します。

- Unified Communications Manager の最初のノードにファイルをアップロードします。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話のリセット/リスタート (Reset/Restart Phones)] > [カスタムファイル (Custom File)] の順に選択します。
[電話のリセット/リスタート (カスタム) (Reset/Restart Phones Custom Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [電話の更新 (Update Phones where)] ドロップダウンリスト ボックスで、次の条件のいずれかから作成済みカスタム ファイルのタイプを選択します。
- デバイス名
 - Directory Number

- 説明

ステップ 3 カスタム ファイルのリストで、この更新用のカスタム ファイルのファイル名を選択して、[検索 (Find)] をクリックします。

注意 クエリ テキスト ボックスに情報を何も入力しない場合、システムはすべての電話機をリセットまたは再起動します。

ステップ 4 次のいずれかをクリックします。

- [リセット (Reset)] : 電話機をリセットします (電源の入れ直し)。
- [リスタート (Restart)] : 電源を入れ直さずに電話機をリセット (再起動) します。
- [設定の適用 (Apply Config)] : 最後のリセット以降に変更された設定のみをリセットします。

ステップ 5 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 6 挿入方法を選択します。次のいずれかを実行します。

- すぐに電話機レコードを挿入する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)] をクリックします。
- 後で電話機レコードを挿入する場合は、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。

ステップ 7 電話機レコードを挿入するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。

このジョブをスケジュールするか、アクティブにするには、[ジョブの設定 (Job Configuration)] ウィンドウを使用します。

関連トピック

[BAT ログ ファイル](#)

[スケジュールしたジョブの管理](#)

[サーバへのファイルのアップロード](#)

クエリを使用した電話のワイプまたはロック

クエリを作成して、ワイプとロックのいずれかまたは両方を実行する電話を検索することができます。



注意 ワイプ操作は取り消すことができません。この操作は、電話機をその工場出荷時の設定にリセットしても問題ないことに確信がある場合に限り実行してください。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話のワイプおよびロック (Wipe and Lock Phones)] > [クエリ (Query)] の順に選択します。
[電話のワイプおよびロックの設定 (Wipe and Lock Phones Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [電話の検索条件 (Find Phones where)] の最初のドロップダウン リストボックスから、次の条件の 1 つを選択します。
- [デバイス名 (Device Name)]
 - 説明
 - 電話番号 (Directory Number)
 - [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]
 - [デバイスプール (Device Pool)]
 - [デバイスタイプ (Device Type)]
 - [コール ピックアップ グループ (Call Pickup Group)]
 - [LSC ステータス (LSC Status)]
 - 認証文字列
 - [デバイス プロトコル (Device Protocol)]
 - [セキュリティ プロファイル (Security Profile)]
 - 一般デバイス設定
- 2 番目の [電話の検索 (Find Phone where)] ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のいずれかを選択します。
- ~で始まる
 - ~を含む
 - 次の文字列と完全に一致する
 - 次の文字列で終わる
 - 空である
 - ~が空ではない
- ステップ 3** 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。
- ヒント** データベースに登録されているすべての電話を検索するには、検索テキストを入力せずに、[検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 4** クエリをさらに定義するために、[および (AND)] または [または (OR)] を選択して複数のフィルタを追加できます。追加した場合は、[ステップ 2](#) と [ステップ 3](#) を繰り返します。
- ステップ 5** [検索 (Find)] をクリックします。
- 検出されたテンプレートのリストが次の分類で表示されます。
- [デバイス名 (Device Name)]
 - 説明

- [デバイス プール (Device Pool)]
- [デバイス プロトコル (Device Protocol)]
- ステータス (Status)
- IP アドレス

ステップ 6 レコードのリストから、検索条件と一致するデバイス名をクリックします。

ステップ 7 次のオプションのいずれかをクリックします。

- [ロック (Lock)] : 電話をロックします
- [ワイプ (Wipe)] : 電話をワイプします
- [ワイプおよびロック (Wipe and Lock)] : 電話をワイプおよびロックします

(注) 選択した機能が電話機でサポートされていない場合、その電話機のトランザクションは失敗します。また、その電話機に対してその機能を要求済みの場合も失敗します。

ステップ 8 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 9 挿入方法を選択します。次のいずれかを実行します。

- すぐに電話をワイプまたはロックするには、[今すぐ実行 (Run Immediately)] をクリックします。
- 後で電話をワイプまたはロックするには、[あとで実行 (Run Later)] をクリックします。

ステップ 10 電話のロックとワイプのいずれかまたは両方を実行するジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。

このジョブをスケジュールするか、アクティブにするには、[ジョブの設定 (Job Configuration)] ウィンドウを使用します。

カスタムファイルを使用した電話のワイプまたはロック

テキストエディタを使用して、ワイプとロックのいずれかまたは両方を実行する電話機のカスタム ファイルを作成できます。カスタム ファイルでは、デバイス名と電話番号のどちらかを使用できます。

始める前に



注意 ワイプ操作は取り消すことができません。この操作は、電話機をその工場出荷時の設定にリセットしても問題ないことに確信がある場合に限り実行してください。

- ワイプとロックのいずれかまたは両方を実行する電話機に関する次の詳細のいずれかをリストしたテキスト ファイルを作成します。

- [デバイス名 (Device Name)]

- 説明
- 電話番号



(注) 各アイテムをテキスト ファイル内の別々の行に配置します。

2. Unified Communications Manager の最初のノードにファイルをアップロードします。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話のワイプおよびロック (Wipe and Lock Phones)] > [カスタム ファイル (Custom File)] の順に選択します。
[電話のワイプおよびロックの設定 (Wipe and Lock Phones Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [電話の更新 (Update Phones where)] ドロップダウンリスト ボックスで、次の条件のいずれかから作成したカスタム ファイルのタイプを選択します。
- デバイス名
 - Directory Number
 - 説明
- ステップ 3** カスタムファイルのリストで、この更新用のカスタムファイルのファイル名を選択してから、[検索 (Find)] をクリックします。
- 注意** クエリ テキスト ボックスに情報が入力されなかった場合、システムではすべての電話機をワイプまたはロックします。
- ステップ 4** 次のいずれかをクリックします。
- [ロック (Lock)] : 電話をロックします
 - [ワイプ (Wipe)] : 電話をワイプします
 - [ワイプおよびロック (Wipe and Lock)] : 電話をワイプおよびロックします
- (注) 選択した機能が電話機でサポートされていない場合、その電話機のトランザクションは失敗します。また、その電話機に対してその機能を要求済みの場合も失敗します。
- ステップ 5** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。
- ステップ 6** 挿入方法を選択します。次のいずれかを実行します。
- a) すぐに電話をワイプまたはロックするには、[今すぐ実行 (Run Immediately)] をクリックします。
 - b) 後で電話をワイプまたはロックするには、[あとで実行 (Run Later)] をクリックします。
- ステップ 7** 電話のロックとワイプのいずれかまたは両方を実行するジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。

このジョブをスケジュールするか、アクティブにするには、[ジョブの設定 (Job Configuration)] ウィンドウを使用します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。